提出順	11	発言順	11	令和2年5月22日 午前・午後 9時7分受領

（1枚中No.1）

令和2年5月22日

安曇野市議会議長　召田　義人　様

安曇野市議会議員　小林　陽子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和2年安曇野市議会6月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	10分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ☑総務部　☑政策部　□財政部　□市民生活部　☑福祉部 ☑保健医療部　□農林部　□商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	市としての新しい生活様式への対応は		

質問の要旨（具体的に記載してください）

緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルス感染症の感染リスクにより、これまでの我々の生活様式を見直さざるを得ないとの共通認識がある。感染症リスクがあることを前提に「新しい生活様式」を基盤として、「密から疎へ」「リモート化」「非接触」等に留意した生活や経済活動を行うことになる。「with コロナ（コロナと共に）」時代への市の対応を問う。

1．ライフラインを支える保育施設や福祉事業等での感染予防対策はどうか。

2．IT を活用した社会基盤の整備が急がれる。仕事の見直しにもつながる課題である。テレワーク等の拠点づくりも推進すべき時期に来ている。また感染防止を念頭に、市民が来庁せずに手続きできる、オンラインでの相談業務や手続き等も民間の取組みを参考に整備すべきと考えるが、どのように考えているか。構想と進捗について伺う。

3．今回のコロナ禍で、市職員は感染リスクの恐怖もある中、よく対応に当たっている。一方、時差出勤や日替り出勤で、困窮する市民の問合せへの対応が間延びするケースもあったと聞く。ぜひ検討材料として、市民への対応を最優先にしながら、業務の効率化も合わせて行うように、仕事の見直しを進めてほしい。必要な情報の共有や連携を工夫したり、業務改善提案を職員から出しやすくするなど、積極的な改善を求めるが、どうか。